

# すみれ組の取り組み

## ～アラジンとまほうのランプ～



あらすじ…アラビアンナイトのお話です。宝石が生まれる洞窟の中で“魔法のランプ”を見つけ出すのですが、魔法使いによって、その中に閉じ込められてしまいます。宝石の妖精に助けられ、洞窟を逃げ出すのですが、今度はその国のおひめさまが遠い国に飛ばされます。今度は、魔法のランプの精にお願いし、おひめさまを連れ戻してもらいました。めでたし、めでたし。

ディズニーのイメージが強かったようで「アラジンと魔法のランプ」の絵本を読むと、「指輪の妖精って何?」「お姫様がジャスミン?」と不思議そうでした。そこで、すみれ組オリジナルのストーリーをみんなで話し合い作っていききました…

大道具・小道具・舞台背景も子どもたちと相談しながら、一緒に作っていききました。「きれいな宝石はどうしよう?」と投げかけると、折り紙でつくり始めました。折り紙が得意な子が折り方を教える姿もあり、お家でも折ってきてくれ、なんと270個以上に!

歌を歌いながら、振り付けて踊るのは、むずかしいな～

アラジンが腰につける剣も製作が好きな子が見本を作ってくれて、真似ながら作っていききました

「宝石作り!  
「こどうするの?」  
「こうやって折るの!」

ローラーを使って、舞台に置く草つくろう!仕掛けもあるよ!

歌をよく聞いて、歌詞の意味を考えて、役ごとに分かれて相談しながら振り付けをしました。なかなか思い浮かばない時には「明日までに考えてこよう」と宿題になる時も…

元気いっぱいのアラジン・悲しそうに演じるおひめさま・迫力ある魔法使い・華麗に踊る指輪の妖精!歌をよく聞いて、振り付けを見てくださいね

お面も衣装も子どもたちと相談しながら決めました。

すみれ組の子どもは、ちょっとした演出家です♪

およびですか?アラジン様!

「ホールの練習は、緊張する～」

「声が小さくなっちゃうよ!」

普段、すみれ組の保育室からは賑やかな声が響いていますが、ホールでの練習になると、急に緊張し始めます。恥ずかしいと思う気持ちも、成長の表れですが、発表会当日はカッコいいところを見てもらおうね!

担任が「ここで、誰が登場しようか?」「ここのセリフはどうする?」と投げかけると「歌の前に〇〇が登場したしたらいい」「このセリフは言いにくいし、〇〇のほうがいい」と、次から次へとアイデアができてきました。自分の思いだけでなく、友達の意見も聞き「それ、いいわ!そうしよう」と、話す姿をたくさん見ることができました。同じ役の友達と輪をつくり「ダンスを忘れないように、もい1回踊ってみよう」と自主連する姿も見られました。友達と意見を出しあい、お互いを認め合い、阻まし合いながら、発表会の練習に取り組む姿に、大きく成長を感じます。